

みずほCustomer Desk Report 2023/08/07号(As of 2023/08/04)

金融市場部 為替営業第二チーム

【昨日の市況概要】				公示仲値	142.88
	USD/JPY	EUR/USD	EUR/JPY	GBP/USD	AUD/USD
TKY 9:00AM	142.59	1.0951	156.19	1.2719	0.6560
SYD-NY High	142.90	1.1042	156.59	1.2791	0.6610
SYD-NY Low	141.55	1.0935	155.97	1.2689	0.6542
NY 5:00 PM	141.76	1.1012	156.05	1.2752	0.6571
	終値	(前日比)		終値	(前日比)
NY DOW	35,065.62	▲ 150.27	日本2年債	0.0200%	0.0000%
NASDAQ	13,909.24	▲ 50.48	日本10年債	0.6400%	▲0.0100%
S&P	4,478.03	▲ 23.86	米国2年債	4.7672%	▲0.1149%
日経平均	32,192.75	33.47	米国5年債	4.1371%	▲0.1529%
TOPIX	2,274.63	6.28	米国10年債	4.0408%	▲0.1364%
シゴ日経先物	32,005.00	45.00	独10年債	2.5385%	▲0.0120%
ロンドンFT	7,564.37	35.21	英10年債	4.3785%	▲0.0850%
DAX	15,951.86	58.48	豪10年債	4.1660%	0.1040%
ハンセン指数	19,539.46	118.59	USDJPY 1M Vol	9.55%	▲0.61%
上海総合	3,288.08	7.62	USDJPY 3M Vol	9.98%	▲0.31%
NY金	1,976.10	7.30	USDJPY 6M Vol	9.66%	▲0.18%
WTI	82.82	1.27	USDJPY 1M 25RR	▲0.91%	Yen Call Over
CRB指数	279.46	0.98	EURJPY 3M Vol	9.98%	▲0.29%
ドルインデックス	102.02	▲ 0.53	EURJPY 6M Vol	9.87%	▲0.16%

東京	142.59レベルで東京市場オープン。みなし5・10日にあたり仲値にかけて堅調推移し、142.89の高値を示現。ただし、仲値通過後は本邦機関投資家が大口の売りを出し続け、142.32の安値まで下押し。ただ、142円台前半では買いも旺盛で、売り買い拮抗。142.40レベルで欧州市場へ渡った。
ロンドン	ロンドン市場のドル円は、142.40レベルでオープン。午後に米7月雇用統計を控え、じり上げで142.84まで上昇し、結局142.70レベルでNYに渡った。
ニューヨーク	海外市場のドル円は142円台半ばでスタート。東京時間では、実需に伴う買いが先行し、142.89まで上昇するも、買いは長続きせず、その後142.40辺りまで反落する。注目の米7月雇用統計の結果発表を控え、142.60付近を挟んだ方向感乏しい推移が続き、142.70レベルでNYオープン。朝方に発表された米7月非農業部門雇用者数変化指数は予想を下回る。しかし、平均時給の部分では予想を上回る伸びを見せ、米7月失業率も予想より低下し、強弱まちまちな内容となる。発表直後は乱高下するも、次第に売りが優勢となったことから軟調な展開となり、141.55まで値を下げる。売り一巡後は小幅反発し、141.80付近まで戻す。午後は週末を控え、積極的な取引が手控えられる中、141.80付近で動意乏しい推移が続き、141.76レベルでクロス。一方、海外市場のユーロドルは1.09台半ばでスタート。先述の米雇用統計の結果待ちムードが強まり、1.0950付近を挟んだ狭い値動きが続き、1.0938レベルでNYオープン。午前中は米雇用統計の結果を受け、ドル売りの展開が相場を押し上げ、1.1042まで戻す。午後は伸び悩み、じり安での推移が続き、1.1012レベルでクロス。

当資料は情報提供のみを目的として作成したものであり、特定の取引の勧誘を目的としたものではありません。当資料は信頼できると判断した情報に基づいて作成されていますが、その正確性、確実性を保証するものではありません。ここに記載された内容は事前連絡なしに変更されることもあります。投資に関する最終決定は、お客様ご自身の判断でなさるようお願い申し上げます。また、当資料の著作権はみずほ銀行に属し、その目的を問わず無断で引用または複製することを禁じます。なお、当行は本情報を無償でのみ提供しております。当行からの無償の情報提供を望まれない場合、配信停止を希望する旨をお申し出ください。

担当:上野・逸見

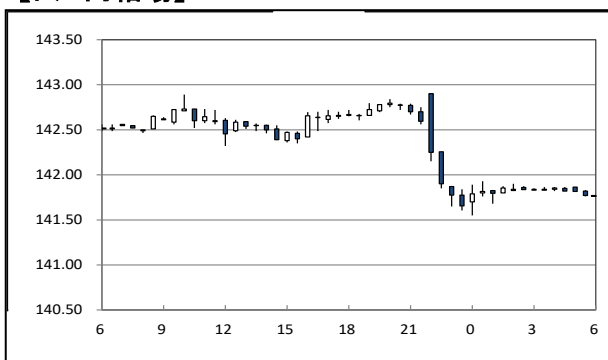
【昨日の指標等】

Date	Time	Event	結果	予想
8月4日	18:00	欧 小売売上高(前月比)	6月 -0.3%	0.2%
	21:30	米 非農業部門雇用者数変化	7月 187k	200k
	21:30	米 失業率	7月 3.5%	3.6%
	21:30	米 平均時給(前月比/前年比)	7月 0.4%/4.4%	0.3%/4.2%

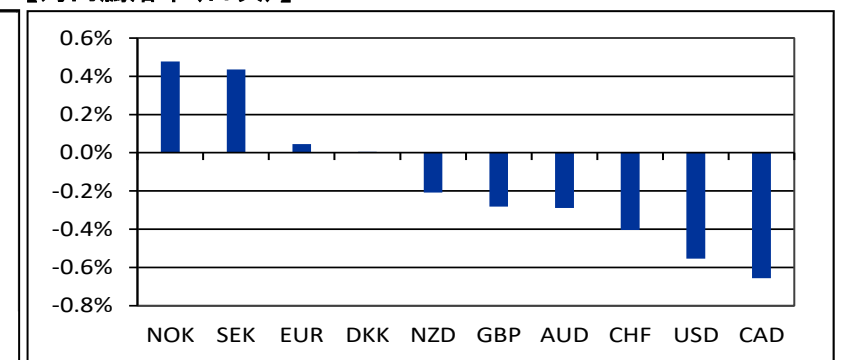
【本日の予定】

Date	Time	Event	予想	前回
8月7日	14:00	日 景気一致指数・速報	6月 115.1	114.3

【ドル円相場】



【対円騰落率(日次)】



【予想レンジ】

通貨ペア	USD/JPY	EUR/USD	EUR/JPY
想定レンジ	141.00-142.50	1.0950-1.1100	155.50-157.00

【マーケット・インプレッション】

先週金曜日のドル円は米指標発表を受けて下落。東京時間142.59レベルでオープン後、序盤は仲値にかけて堅調に推移するも、本邦機関投資家の大口売りフローを受けて上昇分を吐き出す展開。米雇用統計では平均時給の部分では予想を上回る伸びを見せ、米7月失業率も予想より改善するも、7月非農業部門雇用者数変化指数は予想を下回るなど強弱まちまちな内容。ドル円は次第に売り優勢となり141.55まで下値を伸ばした。終盤は動意薄となり141.76レベルでクローズ。本日のドル円は上値の重い展開を予想。米7月雇用統計は強弱まちまちな結果となったが、雇用者数に焦点を当てると、7月分は市場予想を下回り、5・6月分の雇用者の伸びは下方改定されるなど冴えない内容で、それを受けてドル売り地合いが強まった格好。先週末の米市場は米債利回りが低下し、米株も軟調な推移となっている状況。本日については相場の転換点となりうる材料に乏しい中で、上値の重い推移が続くのでは。